

会 議 録

会 議 名 称	令和4年度 第1回登米市総合計画審議会
開 催 日 時	令和4年8月22日(月) 午前10時開会 午前11時35分閉会
開 催 場 所	登米市役所迫庁舎 2階 大会議室
議長(会長)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之
出席者(委員)の氏名	公立大学法人宮城大学 教授 徳永 幸之【会長】 登米市子ども・子育て会議 副会長 片岡 大助【副会長】 登米市景観形成会議 副会長 寺島 洋子 登米市都市計画審議会 委員 青柳 善信 宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所 所長 佐藤 謙一 登米市中学校長会 佐々木 貴子 特定非営利活動法人登米市体育協会 会長 佐々木 猛 登米市文化協会 理事長 鈴木 敬一 社会福祉法人登米市社会福祉協議会 事務局長 宍戸 敬吾 登米市民生委員児童委員協議会 会長 小橋 三男 登米市食生活改善推進員協議会 副会長 千葉 みどり 一般社団法人登米市観光物産協会 会長 猪股 育夫 登米地域商工会連絡協議会 会長 今野 秀俊 宮城北流流域森林・林業活性化センター登米支部 及川 清 登米市コミュニティ推進連絡協議会 会長 千葉 光夫 公益社団法人とめ青年会議所 理事長 志賀 昭洋 以上 16 人
欠席者(委員)の氏名	登米市男女共同参画審議会 副会長 須藤 明美 一般社団法人登米市医師会 副会長 松本 宏 みやぎ登米農業協同組合 常務理事 須藤 正美 登米市環境市民会議 菅原 亜希子 以上 4 人
事務局職員名	【事務局】 まちづくり推進部 部長 永浦 広巳 まちづくり推進部 次長兼地域デジタル推進監兼まちづくり推進課長 千葉 昌彦 まちづくり推進部まちづくり推進課 課長補佐(総合調整) 岸名 紀彦 まちづくり推進部まちづくり推進課 主幹兼まちづくり推進係長 横澤 正幸 まちづくり推進部まちづくり推進課 まちづくり推進係 主幹 小嶋 ひとみ
議 題	【協議事項】 ①第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について ②第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について ③登米市過疎地域持続的発展計画の施策区分で設定する目標の達成状況の評価について

会 議 結 果	別添のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	<p>【資料1】 第二次登米市総合計画 令和3年度実施状況について</p> <p>【資料2】 第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度実施状況について</p> <p>【資料3-1】 登米市過疎地域持続的発展計画について</p> <p>【資料3-2】 登米市過疎地域持続的発展計画 令和3年度達成状況の評価について</p>

発言者	発言要旨
【1 開 会】	
事務局	<p>ご案内の時間となりましたので、ただいまから、登米市総合計画審議会を開会させていただきます。</p> <p>本日の審議会につきましては、次第のとおり、委嘱状の交付、会長、副会長の互選のほか、協議事項3件につきましてご審議をいただくこととしております。よろしくお願いいたします。</p> <p>初めに、本日の欠席者につきまして、ご報告をさせていただきます。次第の裏の名簿をご覧ください。4番 男女共同参画審議会 須藤明美委員。10番 登米市医師会 松本宏委員。17番 みやぎ登米農業協同組合 須藤正美委員。18番 登米市環境市民会議 菅原亜希子委員。以上4名の委員より、欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>それでは、これより委嘱状の交付をさせていただきます。大変恐縮でございますが、新型コロナウイルス感染症対策のため、委嘱状の交付は、代表受領とさせていただきます。代表の方のところに丸山副市長が参りますので、その場でご起立いただきまして、お受け取りをお願いいたします。</p>
【2 委嘱状の交付】	
副市長	副市長より代表者に委嘱状を交付。
【3 市長挨拶】	
副市長	<p>皆様改めましておはようございます。</p> <p>本日は何かとお忙しい中、本審議会の方にご出席を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。本来であれば、市長の方から委嘱状を皆様方に交付すべきところでございますが、市長は本日、公務のため出席することができませんでしたので、代わって私の方から委嘱状を交付させていただいたところでございます。2年間の任期ということでございますが、委員の皆様方には、それぞれの立場の中から、様々な角度からご指導、ご助言を賜り、本市のまちづくりにつきまして、ご意見等いただきますように厚くお願いを申し上げます。</p> <p>さて、本日は第二次登米市総合計画実施計画、第二次登米市まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和3年度における取り組み状況についての成果検証をお願いするというものでございます。加えまして、昨年策定いたしました過疎地域持続的発展計画、これにつきましても新過疎法におきまして、成果等の検証を行うこととすることでございますので、本計画につきましてもあわせて同様に検証をお願いするものでございます。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症の影響等から当初の計画どおりに成果を上げることができなかった事業も中にはあるわけでございますけれども、忌憚のないご意見をいただきまして、今後の事業展開の参考とさせていただきたいと考えているところでございます。委員の皆さんには、様々なご意見、活発なご意見をお願いいたしまして、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
【4 委員紹介】	
事務局	<p>続きまして委員の皆様を紹介させていただきます。次第の裏側に名簿がございまして、この順番でお名前をお呼びさせていただきます。</p> <p>～各委員の紹介～</p>
【5 会長及び副会長の互選】	
事務局	登米市総合計画審議会条例第6条に審議会に会長及び副会長をそれぞれ1人置き、委員の互選によって定めると規定しております。会長が選任されるまでの間、丸山副市長が仮議長となり、会長が選任されるまで

	の間、進行させていただきたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。 ～異議なし～
副市長	それでは、暫時の間、仮議長として務めさせていただきます。会長及び副会長の互選を行います。会長、副会長につきましてどのような方法で選出したらよろしいか、皆さんからのご意見をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。
委員	事務局案があればお願いします。
副市長	ただいま「事務局案」と、発言がございました。そのほか、どなたかご発言がある方いますか。 ～その他 特になし～ それでは、お諮りします。事務局案を提示させていただきたいと思いますがこれでよろしいでしょうか。 ～異議なし～ それでは、事務局案の提示をお願いします。
事務局	それでは事務局案といたしまして、これまでも会長をしていただいております徳永先生にお願いしたいと思います。 副会長につきましては、これまで、子ども・子育て会議の鹿野先生にお願いしておりましたので、引き続き、子ども・子育て会議より、片岡先生を副会長に推薦したいと思います。
副市長	ただいま事務局の方から、会長に徳永委員を、それから副会長には片岡委員とのご提案がございました。この事務局の提案のとおり決定してよろしいでしょうか。 ～異議なし～ それでは、会長には徳永幸之委員、副会長には片岡大助委員を選任させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局	それではここで、徳永会長より、就任のご挨拶をいただきたいと思っております。その場でお立ちいただきましてご挨拶をお願いします。
会 長	改めまして、宮城大学事業構想学部の徳永でございます。引き続き皆様方のご協力をいただきながら進めてきたいと思っております。この評価ですが、近年のコロナ禍の状況だと、数字だけでは判断できないところもあると思っておりますので、皆様方から忌憚のないご意見をいただきながら、しっかりと評価させていただければと思っております。ひとつよろしくお願いたします。
事務局	それではここで丸山副市長につきましては、次の公務がございますので退席をさせていただきます。
	【副市長退席】
【6 議 題】	
事務局	それではこれより議事に入らせていただきます。 登米市総合計画審議会条例第7条の規定により、会長が議長となり、議事の進行を行っていただきます。それでは徳永会長、よろしくお願いいたします。
会 長	それでは早速ですが進めさせていただきます。 まず始めに会議の成立の確認でございます。登米市総合計画審議会条例第7条第2項の規定により、審議会の会議は、委員の半数以上の出席が必要ということでございますが、本日16名の委員に出席をいただいておりますので、会議は成立しております。 次に会議録署名人の指名でございます。今回は8番 佐々木猛委員と9番 鈴木敬一委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。 ～異議なし～

	<p>それでは議題に入らせていただきます。</p> <p>「(1) 第二次登米市総合計画の基本計画等に掲げる主な成果指標に対する成果の検証について」事務局から説明をよろしく願いいたします。</p>
事務局	(配布資料1に基づき説明を行う)
会長	<p>それでは、委員の皆さんからご意見、ご質問等いただきたいと思いません。いかがでしょうか。</p> <p>まだ始まったばかりということと、それから、コロナの影響があって、なかなかこの数字が評価しにくいというところがあるかと思えます。私の方から全般的なことでもよろしいでしょうか。</p> <p>この目標に対する実績値が良かった要因、悪かった要因の欄があるわけですが、経過を報告しているだけという項目がいくつか見受けられるので、なるべく良かった要因、悪かった要因というところをしっかりと書き込んでいただければありがたいです。また、その要因をもとに、どのような取り組みをしていくのかをしっかりと見えるような形にお願いします。それから、コロナの影響が相当にあります、コロナの影響を除いた場合はどうだったかを、それぞれ担当部局の方でもチェックしていただければありがたいと思っております。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p> <p>なかなか資料が膨大でもありますので、後程気が付いた点について、個別に事務局にお知らせいただくということでもよろしいかと思えます。先に進ませていただいて、また最後に全体を通してご意見いただければと思っております。</p> <p>それでは「(2) 第二次登米市まちひとしごと総合創生総合戦略に掲げる主な評価指標に対する成果の検証について」事務局からご説明の方よろしく願いいたします。</p>
事務局	(配布資料2に基づき説明を行う)
会長	それではこちらにつきましてご意見、ご質問ございましたらよろしく願いいたします。いかがでしょうか。
委員	<p>保育所、幼稚園は、子供の数には敏感でございます。数年前に500人切った。昨年、一昨年はもう400人切った。このような情報を聞くたびに危機感を非常に抱いております。</p> <p>資料の2ページ目に、381人というショッキングな数字が掲載されておりますが、その下に婚姻数が、令和3年度163組、前年度より50組ぐらいが減っております。この婚姻数が上がらないことには、子供の数は絶対に増えないと思っております。</p> <p>ここの婚姻数を増やすために、いろんなイベントを開いているということですが、今から10年ぐらい前に幼稚園の職員と登米市の若い男性職員の合同コンパについて、登米市の方から申し出があって機会を設けたことがございます。不特定の人と会うイベントは敷居が高いですし、今はSNSといった気軽な出会いが求められていますので、今後は職域でこまめにイベントの機会を設けることをご検討いただきたいと思います。</p> <p>今年東京からお嫁さんに来た方が1人おります。一番困ったことは何かということを知りましたら言葉だそうです。北海道からお嫁に来て、10年ぐらい勤めている方も、やはり当初は言葉の問題がすごく大変だったと聞きます。市役所に行って話をしても、何か理解できない。登米市に来た方々のコミュニケーションがとれるような企画を考えていただければと思います。</p>

会 長	ありがとうございます。事務局から何か。はい、お願いします。
事務局	<p>結婚推進事業ということで、これまで継続して取り組みを進めてきているところでございます。出会いイベントの企画を行っており、何回か開催しまして、カップルも成立してますが、その後結婚に至ったかどうかの把握が難しく、実績としては 10 年取り組みを進めて、9 組の成功に繋がった実績でございます。</p> <p>また、市独自の出会いイベントだけではなくて、一関市、それと隣の栗原市、平泉町を含めた 4 市町の広域連携による結婚推進イベントというものも開催しているところでございます。</p> <p>それから、県の方で行っております A I によるマッチングシステム、「みやまり」の方に、市内独身者がそこに登録をしていただくのですが、市内で出張登録会も開催しており、様々な結婚推進にかかる事業ということで行っているところでございます。</p> <p>実績は、このとおり様々な要因はあると思いますが、ご意見を参考に今後ますます結婚推進事業を進めて参りたいと考えております。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今の話も正にそうですが、それぞれの単独の項目だけの問題ではありません。結婚の話がありましたが、その前提としてそもそも若い人が減ってきているという問題があります。それが住み続けたい、それから住みたいまちづくりというところにまさに関係してくる訳です。そのためにもきっちりと産業振興を進め、相乗効果として全体の目標を目指していくということになるかと思えます。個々の細かく分けられた項目の評価ということだけで汲々としてしまうことがないように、全体をしっかり考えた上でそれぞれの施策に取り組んでいただきたいと思えます。</p> <p>はい。そのほかいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>8 ページの 39 番です。産業経済部の農林振興の検証なのですが、森林組合作業員は令和 3 年度 年間 44 名、これが令和 7 年度までには 50 名にしたいと。これは多分、登米市 3 森林組合員の作業員の人数と思われます。検証の中で林業に従事する作業員、従業員が年々高齢化し、再任用ということで作業に従事していただいておりますが、新規の担い手がないという状況であります。また、登米市で実施している緑の雇用対策による新たに働きたいという人もいないのが現状です。ハローワークをとおして担い手対策に努めてもいるのですが、年間ゼロというような状況にあるということです。</p> <p>これは登米市ばかりではなく、全国的な労働力不足というようなことが言われております。地域おこし協力隊員の方が広く全国的に林業に対しての魅力を発信していただければなと思っております。</p> <p>それから 35 番 木材・木製品出荷額が億単位になっていますが、多分これは製材所関係の業者さんの数字がここに載ってると思えます。長年木材のいろいろと P R しておりますが、木材の利用に対しての認知度がまだまだ少ないと。林業が登米市では 2 万 3,000 ヘクタール以上の財産があり、ちょうど 60 年から 80 年の伐期時期に入ってきております。これを活用しながら、労働力の創出、あるいは登米市の P R をしていただきたいと思っております。</p> <p>9 月に積水ハウスの役員さんが、東和町にお邪魔したいという申し出がありました。積水ハウスさんは、ロシアから木材が入荷できないことで、かなり苦慮しているための対策だと思えます。東北では秋田県と秋田杉との交流があるそうですが、東北ではその 1 件しかないことから、</p>

	登米市には木材の供給を求めるために来ると思うんです。ハウスメーカーに対しても、登米市をPRするための発信対策を増やしていただきたいと思い、意見として申し上げます。
会 長	はい、ありがとうございます。事務局、よろしくお願いします。
事務局	<p>林業担い手の確保策についてですが、市の方でも国の制度である緑の雇用、こういうものを活用しながら林業従事者の確保に努めておりますが、まだ目標の方には到達していないという状況でございます。</p> <p>昨年放送されました「おかえりモネ」におきまして、登米市は森の町という位置付けで、登米市の林業が全国的に注目をされたという年でありました。委員の方から話がありました地域おこし協力隊の方で、林業の支援に携わる隊員を昨年から募集をかけていますが、まだ応募がないという状況でございます。</p> <p>林業労働力については、全国的なウッドショックで木材の値段が上がってますが、林業従事者が確保できないため、生産量の拡大になかなか繋がらないというような話でございます。引き続き、この林業担い手の確保に市としても努めていきたいと考えているところでございます。この森林組合作業員数につきましては、米川生産森林組合さんの数字も入った数字でございます。</p> <p>それから、木材・木製品出荷額の方ですが、特に効果的だった取り組み項目にございますとおり、登米産材フェアを、首都圏の木材市場の方に製材所の皆さんとともに出向きましてPRを行っております。製材所の方からお話を伺いますと、やはりウッドショックで、国産材への注目度が上がっているということで、最近特に引き合いが多いというお話も聞いております。今後も積極的に登米市産材のPRに努めます。国際認証のFSC認証を取得した面積がこれだけある市は、なかなか全国的に見ても珍しいところでございますので、認証材の里というような形でのPRという形も、これから進めていきたいと考えているところでございます。以上でございます。</p>
会 長	はい。ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。
委 員	<p>「子育てにやさしい」、「住み続けたい、住みたいと思える魅力のあるまちづくり」という部分が文言として出ていますが、なかなか実現しないと参加しながら感じます。前回の委員任期の際も話をした記憶がありますが、加賀野区画整理の界限は、いまだに多くの住宅が建っております。だからぜひ界限を見に行きたくて欲しいと言った経緯がありますが、加賀野小学校がどんどん人数が増えているのはその結果な訳です。</p> <p>以前は100人前後ぐらいの小学校でしたが、今もう300人を超えています。必要な条件を整備したから、住宅を建てて、ここに住んでみませんかという加賀野の区画整理ももちろんよろしいのですが、それによってでき上がった地域の魅力というものが、今の区画整理区域外にどんどん広がってきているということは無視すべきではないだろうと思います。魅力のあるまちを作った加賀野の良さをなぜ応援しないのかなと思います。</p> <p>子供たちが毎朝30人、40人も学校に通学するのに歩道一つないんです。歩道がない通学路が指定されており、道路そのものが2メートル道路なのです。そこを工事用のダンプが、朝、7時から8時ぐらいまで通るため、「早く歩道作ってほしい。道路行政しっかりしてほしい」と以前も言いましたが、遅々として進んでない。これは担当職員の皆さん方の力だけでは何ともならないと思うので、市全体、議会も巻き込み、登米市全体の方向性をしっかり根本的に作り直していかなければと思います。</p>

	<p>す。</p> <p>過疎の地域をどうするかということももちろん大切です。ですが一方では加賀野地域のように、開発されてきている地域に対する住環境の整備もしっかり見据えていく必要があるだろうと。でないとも両方駄目になってしまうのではないのでしょうか。今後の指導も含めてお願い申し上げます。</p>
会 長	<p>はい。ありがとうございます。事務局、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>加賀野地区のまちづくり、にぎわいに対して、社会的な基盤整備が遅れているという委員からのご指摘だと思います。関係部局の方に繋ぎ、課題として共有し、対策を検討していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>総合戦略、総合計画は個別地域名を挙げてという形ではないので、そのあたりが非常にわかりにくい状況になっております。いずれ登米市全体の今後を考えるにあたり、これまでの古い町をどう再生するか。新しい地域をどう発展させていくか。集落等をどうしていくのかと。総合的に考えていかなければなりません。それでバランスをとりながら、市全体として良い方向に向かっていければ良いことだと思います。</p> <p>そのあたり優先順位等もいろいろあるとは思いますが、各地域の状況をしっかり把握した上で、事業等を進めていただければと思います。</p>
委 員	<p>学校統廃合で無くすのではなくて、学校が近くにあるから住宅が増えているのだと。学校の統廃合を考えるときは、そういう方向性も踏まえた定住、住環境の整備が学校の維持に繋がると考えるべきです。</p> <p>学校を無くすことだけを考えるのではなくて、学校を維持する方法を考えるべきなのです。具体的な例として、加賀野地域を言ってますが、狭い範囲で言っている意味ではありませんのでご理解いただきたい。</p>
会 長	<p>当然、加賀野地域だけではなく、それぞれ9町をどう再生していくのかということになります。「まち」は生き物ですから、その時代の環境の変化等に合わせて、形を作り変えて整備していくことが重要な課題なわけですね。加賀野地域は、そういう意味では先行事例として良い事例であるわけですね。そこを参考にして、問題があるのであればしっかり見つめ直して、今後の事業に生かしていくということが大切だと思います。</p> <p>はい、そのほかいかがでしょうか。</p>
委 員	<p>資料1の5ページ、No.9番の学校支援ボランティアの参加数という項目になります。</p> <p>昨年ボランティアだより用の写真撮影で支所から依頼があり、掲載していただくことがありましたが、文章は登録者数が減少したと掲載され、写真が余りにも小さく、白黒の印刷のため、不鮮明でわかりにくいものとなってしまいました。</p> <p>募集する内容のボランティアだよりですので、ただ文章を載せるという簡単な気持ちではなく、皆さんにお知らせをするという心のこもった表現をお願いしたいと思います。また、ボランティア活動する人が少なくなってきたのを実感として感じますので、白黒印刷でなく、カラーで印刷して発行していただければと思います。</p> <p>それから、田んぼの耕作放棄地が大変荒廃している状況についてです。黄色く花が咲く外来種が耕作放棄地で大きく育ち、花粉の飛散で周囲の住民が大変困っており、刈り取りしない限りは解決しないという状況にあります。制度上どうにもならないようですが、他人の土地でも迷惑がかかっている場合は草刈をしてもいいような制度はないのでしょうか。</p>

会 長	ありがとうございます。では事務局よろしく願います。
事務局	<p>大変貴重なご意見、ご指摘をいただきましてありがとうございます。</p> <p>私たち市の広報担当課でもございますので、心のこもった表現は大切なことと思いますので、参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>それから耕作放棄地の「セイタカアワダチソウ」のお話だと思いますが、私たちも空き家問題を担当していますが、よく放置された空き家で庭木が繁茂したり、雑草で困っていたり、隣家の人からの苦情なんかもございます。そういう話と同じことだと思しますので、各総合支所の方に繋がせていただき、その個別案件については、ご相談をいただければと思いますので、よろしく願います。以上です。</p>
会 長	そのほかいかがでしょうか。はい、よろしく願います。
委 員	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる具体的施策において、子育ての出生者がどうしても減っているという状況の中、婚姻する方も減っているというデータのようです。</p> <p>9年連続で人口増加する兵庫県の明石市で、所得制限をなくした子育て世代の支援、おむつの1年間無償化、中学生まで給食費が無料等を基軸としたまちづくりをして、実際に目標を達成してるそうです。</p> <p>最初の目標として人口を少し吸収するとの言い方は良くないのかもしれませんが、登米市に拠点を置いて他のところに働きに行くような方々を増やすような長期的な戦略がないと、市独自で解決するのは非常に難しいと思います。その辺の見解や方向性をお伺いします。</p>
会 長	はい。ありがとうございます。事務局よろしく願います。
事務局	<p>明石市の事例につきましては、私たちもいろいろ勉強させていただいてるところであり、アドバイスありがとうございます。</p> <p>市としましても、選ばれる「まち」となるように、部局横断的にいろんな会議を開催して検討を重ねているところでございます。子育てを支援する様々な各部局で持つる事業等ございますので、それを持ち寄って、検討してる会議なんかもございます。ぜひそういう場で、明石市の事例なんかも参考に、今後のまちづくりに早速取り組める政策等がございましたら、反映させていくようにしていきたいと考えておりますのでよろしく願いたいと思います。</p>
委 員	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>登米市も結構子育てに力を入れているような話で、実際はすごく頑張られていると思いますが、キャッチーなところで東北の明石市というのはどうでしょうか。例えば要は惹きつけるような施策を打ち出すような形の方が目立ちやすいと思うのですが。</p> <p>登米市はどうしても二番煎じという印象なので、東北の明石市になると銘打ってやってみるのはどうでしょうか。メッセージ性で東北の方々の近隣の方々にも打ち出せるのかなと思います。そのような方法もご検討いただき、市の認知度が向上するような施策をぜひご検討いただければと思います。以上です。</p>
会 長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>明石市の場合と単純に同じような環境というわけではないので、登米市においてはどのような施策が有効になってくるのかというあたりを吟味した上で、そのような積極的な施策を打ち出していただければと思われま。よろしく願います。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。</p> <p>大分時間も経過しましたので一旦ここで切らせていただきます。</p>

	<p>新たな取り組みということになります、(3)登米市過疎地域持続的発展計画の施策区分に指定する目標の達成状況について、達成状況の評価について、事務局よりご説明の方よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>(配布資料3-1、3-2に基づき説明を行う)</p>
会長	<p>確認ですが、先ほどの説明がありました総合計画、総合戦略の項目の数値が、旧5町に限定された中で数字が計上されているということでしょうか。この5町に限ってということではなく、全体と同じものが載っているという認識でよろしいのでしょうか。それとも、この旧5町に特化した形で書かれてる部分もあるということでしょうか。</p>
事務局	<p>記載の内容で、過疎地域のみ分析できるものにつきましては、過疎地域旧5町抜き出した内容で検証結果を記載させていただいております。</p> <p>どうしても事業によっては数値だけは分けられますが、取り組みがは5町域だけじゃなく、市全域で同じように取り組んでいるといったものもごございます。そのような項目については、過疎地域だけではなく、市全域で取り組みを記載させていただいているものもごございます。</p> <p>5町域で分析できるものについては5町域の実績、あるいは要因といったところを記述させていただいております。</p>
会長	<p>はい。承知いたしました。</p> <p>なかなか過疎地域だから特別扱いにはできないというはよくわかるわけですが、物によってはより深刻であるという意味で、そちらを優先的にやらなければいけないという場合もあるかと思えます。そのあたりの取り扱いを各担当の方で検討いただいて、しっかり取り組んでいただければと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>こちらにつきまして、ご意見、ご質問等ございましたら、よろしくお願いたします。それぞれ関連する部分も多いですので全体を通じてということでも、構いませんが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>人口が減る局面で、どのようにして地域を維持していくのかというのは登米市に限らず、宮城県全体でも非常に大きな問題になってます。</p> <p>その局面に立ち向かう一つの大きな武器としては、DXをこれからもっと真剣に考えていく必要があるのではないかと考えてます。</p> <p>一次産業で労働力が減っていくような局面で、例えば先ほども林業の話ありましたけれども、ドローンを活用した測量であるとか、あるいはAIなども活用した農業とか考えていく必要があるのかなと思えます。</p> <p>DXの活用を前面に出すのは難しいですが、すべての項目、取り組みをDXで活用する可能性を考えることが大事かなと感じました。感想になります以上です。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。よろしいですか。</p>
事務局	<p>貴重なご意見いただきまして本当にありがとうございます。</p> <p>今日の午後、DX推進に向けた庁内会議を予定しており、これから議論を深めていく段階となります。DX（デジタルトランスフォーメーション）ということで、デジタルの技術を導入して、様々業務の効率化であります、登米市としての目標は市民の利便性向上につなげることで、これからDXを推進していくことにしております。</p> <p>デジタル技術をどの部分に充てることができるのか、そういう業務の洗い出しですとか、市内の産業にどう生かしていくのか、そういう検討をこれから始めまして、登米市としてのDX推進計画を策定していくということで今動いてる状況でございます。</p>

<p>会 長</p>	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>DXに限らず with コロナといいますか、これがどうなるのか。あるいは地球温暖化の問題であったり、エネルギー問題だったり、いろいろと近々においても情勢は刻々と変化しておりますので、情勢の変化を捉えて、適切に取り組んでいただければと思います。</p> <p>そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>なかなかこの場で言いきれなかったという部分もあるかと思っておりますので、もしお気づきの点があれば個別に事務局にお知らせいただければというふうに思います。</p> <p>そのほかいかがでしょうか</p>
<p>委 員</p>	<p>経済が動かないと人口が増えない。産業が成り立たないから、金融機関が撤退する。会社がなくなると雇用の場が失われ、若い人が市外に出ていく。これが人口の増えない要因だと思います。それを食い止めると言っても、登米市ばかりではなく全国的な労働力の減少、あるいは人口減少ということなのです。登米市はもっともっと魅力のある町だと思うのです。</p> <p>三滝堂に空き家はないんです が、キャンプに来られる方からは「空き家あったら教えてほしい」というような観光客が結構おります。実際に3人程移住して、新しく家を建てた方もいますので、やはりそうした魅力を発信して、その地域住民が迎え入れてくれるようにすることが大事だと思うのです。先ほど「セイタカアワダチソウ」が言われましたが、川を清掃、あるいは道路の草刈を全部住民が出てやっています。ボランティアというのは、私たちの生活をしてる場所だから、皆さんが、「本当にここ環境がいいね」というような地域づくりが私たちの使命だと思っております。</p> <p>過疎に対して特効薬はありませんが、過疎を逆手によいまちづくりを、登米市にさせていただきたいなと思いましたので、手を挙げさせていただきました。以上です。</p>
<p>会 長</p>	<p>はい、ありがとうございます。そのほか、よろしいでしょうか。</p> <p>そうしましたら、本日の議題の方は、以上になります。皆様のご協力ありがとうございました。</p> <p>それでは進行の方、事務局にお戻ししますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>【7 その他】</p>	
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして次第の7、その他に入らせていただきますが、事務局からは特に連絡事項等はございません。委員皆様方から、何かご意見等ございましたら、お願いいたします。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは閉会の挨拶を、副会長さんをお願いいたします。</p>
<p>【8 閉 会】</p>	

<p>副会長</p>	<p>委員の皆様から様々なご意見ご感想等いただき本当にありがとうございます。</p> <p>ここにお集まりの皆さんも、5歳から10歳ぐらいの時のいろんな記憶をたくさん持たれていることと思います。幼児教育に携わっておりまして、幼児期は、人生で一番かわいくて、素直な時期でございます。この時期に残るものは何かというのは、やはり体験なのだとすることを私も教わりましたので、様々な体験することを心がけて、日々子供たちと向き合っております。</p> <p>先ほどお話が出ました三滝堂も、60年ぐらいのつき合いがありまして、道路が整備されない頃から行っておりました。その体験があって子供たちを三滝堂や平筒沼に連れていく、社会性を育てるために老健施設に訪問や地域のお年寄りの方々との交流もしてきました。しかし、ここ2、3年は、コロナ禍でなかなかできないという状況になってしまいましたけれども、とにかく登米市を好きになる。それを教えるのは、やっぱり幼児期が一番だと私は思っております。</p> <p>今日はいろんな業種の方と、意見交換して知り合いになりました。ぜひ子供たちにこういう体験をさせたいという場合は、声をかけていただければ、喜んで、参加させていただきたいと思っております。登米市が本当に持続的な発展を遂げるためには、子供たちの存在が宝であると、皆さんはよくご存知のことと思いますので、ぜひ子供たちの方に目を向けていただき、自分たちの、私たちが子供の頃のことを思い出して、いろんなことを教えていただければというふうに思っております。</p> <p>私の立場からの挨拶ですけれども、また、この次の会議の機会を楽しみにしております。本日は大変お疲れ様でございました。ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは以上をもちまして令和4年度第1回登米市総合計画審議会を終了させていただきます。長時間にわたりましてご審議をいただき大変ありがとうございました。お疲れ様でございました。</p>